

様 式 Z - 7

平成 2 6 年度科学研究費助成事業 実績報告書 (研究実績報告書)

1. 機関番号

3	2	6	0	4
---	---	---	---	---

 2. 研究機関名 大妻女子大学
3. 研究種目名 基盤研究(B) 4. 研究期間 平成 2 6 年度 ~ 平成 2 9 年度
5. 課題番号

2	6	3	0	1	0	0	1
---	---	---	---	---	---	---	---
6. 研究課題名 東南アジア伝統衣服製作技術体系の解明と伝承教育最適化のためのプログラム開発
7. 研究代表者

研究者番号	研究代表者名	所属部局名	職名
6 0 3 2 2 4 3 4	シモダ アツコ 下田 敦子	人間生活文化研究所	助手

8. 研究分担者

研究者番号	研究分担者名	所属研究機関名・部局名	職名
4 0 3 0 7 1 1 1	アヤベ マサオ 綾部 真雄	首都大学東京・人文科学研究科	教授
4 0 1 5 5 6 8 5	ナカガワ マサノリ 中川 正宣	東京工業大学・社会理工学研究科	教授
5 0 1 1 4 0 4 6	オオサワ セイジ 大澤 清二	人間生活文化研究所	所長

9. 研究実績の概要

本研究は、急激な社会の変貌により現在消失の危機に瀕している東南アジアの無文字社会に伝承される身体を用いた衣服製作技術を残すべく、今なお地機（じばた）を用いて衣服を製作する諸民族のフィールド調査によってそれら技術を映像と文字に置き換えて保存する。同時にこれら技術の伝承過程を技術要素に分解し、項目反応理論によって難易度を計量する。この難易度に従って最適化した習得過程を見出し、併せて習得最適年齢を求め、これによる伝承方法とそのプログラムを提案する。更にこれを職業訓練や学校教育による試行を通して実用化する。

そこで平成26年度は年初に国内で準備会をし、研究計画、役割分担と現地調査の準備について協議した。続いて「調査員マニュアル」を作成して現地において「現存する技術要素調査」の調査員に対する研修会を行い、その後調査を実施した。ここでは調査員、補助員が衣服製作技術熟練者を訪問し、調査項目に従って製作工程を聞き取り、原物標本を収集した。これらのデータを整理、チェックした後に入力し技術要素の項目を抽出する作業を開始した。併せて「技術の保存研究」を開始した。調査員、補助員、カメラマンが前記の衣服製作技術熟練者に製作の手順に個々の技術要素を再現してもらい詳細に映像と文字で記録し、使用する専門用語を録音した。

10. キーワード

- (1) 無文字社会 (2) 伝統衣服製作技術 (3) 身体技術の伝承 (4) 伝承方法の最適化
 (5) 項目反応理論 (6) (7) (8)

(注) ・印刷に当たっては、A 4 判 (縦長) ・両面印刷すること。

(1 / 5)

11. 現在までの達成度

(区分)(2) おおむね順調に進展している。

(理由)

現地の調査受け入れ体制が極めて良好であったため、おおむね順調に遂行することができた。
ミャンマーでは一般には調査目的のために現地に外国人が立ち入るのは困難であるが、幸いにも現地州政府から正式な許可を得ており調査が問題なくできた。調査実施にあたっての安全面についても州政府による支援を得ることができた。
タイではこれまでの現地における活動実績から、公立の教育機関から諸民族の集落、村人に至る幅広い人的ネットワークにより協力、支援を得ることが出来た。

12. 今後の研究の推進方策 等

(今後の推進方策)

平成27年度は、本研究課題の要である「技術習得プログラムの開発」に向けた技術習得状況調査を実施するとともに、技術の保存の為の用語集と映像の整理編集を継続して行う予定である。そのため今まで以上に現地による支援が機関レベルはもとより個人レベルで必要になってくる。平成27年度の活動開始早々に昨年度の研究実績を現地に報告して理解を得て、調査への変わらぬ協力を得られるようにする。天災が起きない限り計画通りに遂行するつもりである。

(次年度使用額が生じた理由と使用計画)

(理由)

(使用計画)

13.研究発表(平成26年度の研究成果)

(雑誌論文) 計(3)件 うち査読付論文 計(3)件

著者名		論文標題			
下田敦子, タンナイン, 大澤清二		HQC (Health Quality Control) 手法の利用による起立性調節障害の改善 ミャンマーの5325人の子どもの追跡調査から			
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	
発育発達研究	有	64	2 0 1 4	11-17	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)					
なし					

著者名		論文標題			
Seiji Ohsawa, Shu Nimonjiya, and Atsuko Shimoda		Field notes on the dietary habits of the Mlabri hunter-gatherers in Thailand			
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	
International Journal of Human Culture Studies	有	24	2 0 1 4	234-244	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)					
なし					

著者名		論文標題			
大澤清二, 下田敦子, 二文字屋脩		狩猟採集民ムラブリの子どもの遊びに関する記述的研究			
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	
発育発達研究	有	66	2 0 1 5	11-17	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)					
なし					

(学会発表) 計(4)件 うち招待講演 計(0)件

発表者名		発表標題	
下田敦子, 大澤清二, タンナイン, ジョネイ		パダウン人女性の身体変工が及ぼす体構、日身体活動量、運動能力への影響	
学会等名		発表年月日	発表場所
日本発育発達学会第13回大会		2015年03月14日～2015年03月15日	日本大学文理学部(東京)

発表者名		発表標題	
大澤清二, 下田敦子, タンナイン, 鈴木和弘		狩獵採集民と日本人の比較を通じてみた発達諸相の探求	
学会等名		発表年月日	発表場所
日本発育発達学会第13回大会		2015年03月14日～2015年03月15日	日本大学文理学部(東京)

発表者名		発表標題	
中西純, アチャウシャ, 下田敦子, 大澤清二		ベジタリアンの発育に関する調査	
学会等名		発表年月日	発表場所
日本発育発達学会第13回大会		2015年03月14日～2015年03月15日	日本大学文理学部(東京)

発表者名		発表標題	
アチャウシャ, 下田敦子, 大澤清二		ネパールにおける幼児の基本的な生活習慣の発達過程	
学会等名		発表年月日	発表場所
日本発育発達学会第13回大会		2015年03月14日～2015年03月15日	日本大学文理学部(東京)

